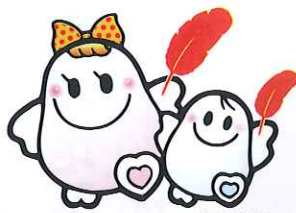


愛ちゃん と 希望くん



©中央共同募金会

やわたはま

# 社協だより

# 45

平成25年8月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで



講師の山下さん（中央）とサロンのお世話人等参加者で記念撮影

## 「75歳で高校生になった僕」 生きる姿勢を魅せ続ける 山下一郎さんからのメッセージ

平成25年6月28日（金）13時30分から15時30分、八幡浜市保健福祉総合センターで「ふれあい・いきいきサロンお世話人研修会」を開催しました。サロンのお世話人、サロンメンバーなど約120名が出席しました。

一念発起し75歳で八幡浜高校に入学。そして高校を卒業され、なお精力的に様々な活動に取り組みされている山下一郎さん（八幡浜市内在住、現在80歳）に講演をお願いしました。

山下さんの講演の前に、山下さんが在学中、ニュースで放送された高校生の頃の映像を観ました。参加者は早速、笑顔あり、笑いあり、涙ありでした。

山下さんとサロンの皆さんは同世代であり、同じ時代を歩んでこられました。以前、山下さんが営んでいたお店で

買い物された出席者も多いようでした。山下さんが講演のために書かれた原稿には丁寧な文字が書き込まれ、何度も推敲（すいこう）をかさねた跡がみられました。

山下さんの期待と不安いっぱい的高校生活を支えてくれた、60歳近く齢の離れた同級生や若い先生。みんなで山下さんを見守り、山下さんが生きる姿勢をみんなに魅せる。そんな良い関係であったことを伝えていただきました。



八幡浜の言葉で優しく語りかける山下さん



## 磯津地区社協見守りネットワーク会議 地域と介護支援専門員が協力する見守り活動を



見守り活動に感謝される松浦さん（写真右）

平成25年7月5日（金）13時から14時20分、磯津地区公民館にて、磯津地区社協見守りネットワーク会議を開催しました。八幡浜市社協は、70歳以上のお一人暮らしの高齢者の生活を見守る「見守りネットワーク事業」に取り組んでいきます。見守り活動を最前線で担っている見守り推進員、民生児童委員、

地区社協役員、地域包括支援センター職員合計15名が出席しました。磯津地区の総人口621名の内、65歳以上の高齢者は331名です。磯津地区の高齢化率は、53・3%で、八幡浜市全体の高齢化率34・1%と比較すると高い値になっています。磯津地区の見守り推進員や民生児童委員は、地区社協で行う配食サービス・一人暮らし高齢者のつどい・戸別訪問等により、お一人暮らしの高齢者に丁寧に関わっています。高齢者と見守りボランティアとの信頼関係を大切にされています。会議では、介護保険を利用される高齢者の在宅生活をお手伝いする居宅介護支援事業所 橙園（とうえん）の介護支援専門員 松浦芳和さんより介護支援専門員の役割を

お話ししていただきました。今後、地区社協と介護支援専門員が連携していく必要性を確認しました。見守り推進員や民生児童委員からは「地域包括支援センターや介護支援専門員と私たちが連携し、情報共有をして、一人暮らしの方を支援していきたい」「高齢者を介護している家族にも温かい関わりをしていくべき」などの意見がありました。現在、15地区社協（大島地区含む）で、見守りネットワークを開催しています。平成25年7月末時点で、白浜、舌田、日土、喜須来、磯津で開催しました。当日お話ししていただく介護支援専門員は、ことぶき荘、ウエル五反田、めぐみ、橙園、八幡浜市社会福祉協議会から派遣していただいております。

防災でまず私たち  
にできること

自宅を点検  
してみよう!!

平成25年7月12日（金）13時30分から15時、本町集会所にて、防災教室が開催されました。ふれあい・いきいきサロン 川之石本町なかよし会、老人クラブ 長寿会、婦人会、市社協の合同で、41名の方が出席されました。講師である八幡浜市役所危機管理室・原子力対策室 小原さんから、パワーポイントを用いて、「災害に強いまちづくりを目指して」を、分かりやすく、かみくだいた表現で、お話ししていただきました。

「災害とは？」から始まり、南海トラフ巨大地震、八幡浜市内における被害の想定、津波の脅威など学ぶことができました。津波について、避難対策と自分たちでできる対策を具体的に考えることが



できました。

小原さんから、防災として家族  
でできることとして下記の点を挙  
げられました。

### 1. 家の中にも危険がいっぱい

- (1) テレビやタンスは固定し  
ているか
- (2) 照明器具が落ちてこな  
いか
- (3) 窓ガラスが割れてけがを  
しないか
- (4) 火元は大丈夫？
- (5) 通路がふさがれたりしな  
いか

### 2. 家具等の固定の仕方

### 3. 食料や水は自分で準備

- (1) 何が必要？  
どのくらい必要？
- (2) 家族のことを考えて。赤  
ちゃんには、ミルクやほ  
乳瓶が必要…
- (3) 季節は？

### 4. 家族で防災会議を開こう

- (1) 地震がおきたときの身の  
守り方
- (2) 家族の連絡方法
- (3) 家族の避難場所はどこか
- (4) 家庭での役割分担
- (5) けがをしたときの手当の  
仕方

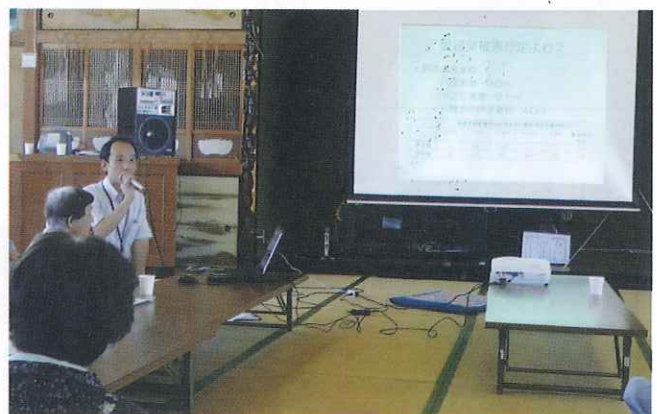
ただし、1〜3について完璧を  
目指すと、気が重くなります。で  
きるころから防災対策を始めま  
しょう。まず、寝室から防災対策  
を始めましょう。「飽きずに・疲れ  
ずに」が防災の基本です。まずは  
生きることが大切、命を守るため  
に「家具・電気製品」の転倒防止  
から始めて下さいと小原さんから  
貴重なメッセージをいただきました。  
また、今回の防災教室のよう  
に、地域の中で現状をふまえた様々  
な意見が住民間で話し合いが行わ  
れることも防災としては大切だと  
申し添えられました。

### 【出席者の声】

- ・とても分かりやすく、あっと  
いう間の1時間でした。
- ・避難訓練に参加する顔ぶれが  
だいたい同じであることが心  
配です。
- ・本町地区における避難場所の  
想定について改めて確認した  
いです。
- ・参加者がとても多かったです。
- ・地元の写真を使ったり、字を  
大きくする等、小原さんの参  
加者への配慮を感じました。
- ・サロンでも日頃から様々な防  
災活動に取り組みながら、防  
災への意識を高めています。
- ・自分の命は自分で守る！
- ・今後も災害への意識を高める  
ために、研修を重ねていくこ  
とが重要であると改めて感じ  
ました。



防災は私たちの問題です



準備万端でお話いただいた小原さん



**平成25年度 共同募金配分金助成事業の配分団体が決定しました**  
**5団体6事業で、地域福祉のために有効に活用**



寄付者の理解を得ることが大切

平成25年6月28日(金) 9時30分から10時50分、八幡浜市保健福祉総合センターにおいて、八幡浜市共同募金配分委員会を開催しました。八幡浜市共同募金委員会より委員会へ、八幡浜市の共同募金の状況および共同募金自動販売機の設置状況を報告しました。そして、共同募金配分金助成の申請があった団体の事業について、住民福祉の向上の観点から、助成することが適切であるかどうかをはかりました。

**【平成25年度 八幡浜市共同募金配分委員会】**

委員氏名	所属団体
菊池清之	八幡浜市社会福祉協議会 会長
田中定彦	八幡浜市民生児童委員協議会 会長
白石喜美子	八幡浜市連合婦人会 会長
記藤聡子	八幡浜市民生児童委員協議会 副会長
佐藤二二男	地区社会福祉協議会会長会 副会長
菊地千鶴	八幡浜市女性団体連絡協議会 副会長
二宮真人	八幡浜少年ホーム園長
矢野律子	保内町赤十字奉仕団委員長

厳正なる審査の結果、申請のあった5団体6事業について、助成することを決定しました。八幡浜市民の皆様からいただいた善意の寄付から、1事業3万円が助成されます。今後も、八幡浜市共同募金委員会は、寄付者の理解が得られるよう、地域住民による温かい活動を支援してまいります。

**【平成25年度 八幡浜市共同募金配分金事業 助成団体】**

助成団体名	事業名	内容
八幡浜市ともしび婦人会	ジャンボかるた取り大会事業	ジャンボかるた取り大会に参加。手づくりのおやつと温かい飲み物の配布。
巢立ちの会	親子クリスマス会	発達に不安を持つ子供とその保護者同士がクリスマスを楽しみ、交流を深める
	視察研修	西条市・新居浜市の発達支援センターの運営を学ぶ
神山おやじ隊	神山おやじ隊 夏休みデイキャンプ	神山小学校運動場にて、ゲームや柱祭りミニ版のコーナーを設け、子供たちが1日楽しく体験できるようにする。
点訳サークル 竹の子会	視覚障害者との交流事業	陶芸教室（形作り、釉薬） パン教室
ほほえみ会	社会参加促進事業	身体に障害をもちながらも社会参加を心がける。屋外研修会、お花見等



## 広報紙作成研修会「ステキな写真の撮り方を知ろう」 24名の参加者がみなつとをステキに撮影

平成25年6月27日（木） 13時30

分から15時30分、道の駅みなつと  
みなと交流館において、広報紙  
作成研修会「ステキな写真の撮り  
方を知ろう！」を開催しました。

この研修会は、赤い羽根共同募金  
の配分を受けています。地区社協  
や病院、グループホーム、デイサー  
ビス、公民館等24名の方に参加し  
ていただきました。

広報紙に掲載するために写真を  
撮る機会は多々あります。場所や  
時間帯、撮影対象など、場所によっ  
て有効な撮影方法を知ること



ステキなおひげの  
カメラマン 菊池 誠さん

読み手により見やすい広報紙づく  
りにつながります。参加者が写真  
撮影の技術を身につけ、八幡浜市  
内で発行されている広報紙のレベ  
ルアップを図ることを目的として  
います。

講師は、有限会社 富士写真館  
菊池 誠さんをお願いしました。菊  
池さんからカメラの種類や機能に  
ついて、撮影した写真や動画をお  
りまぜながら説明していただきま  
した。参加者は視覚的に理解する  
ことができました。

参加者からの写真の撮り方につ  
いての悩みや質問に対して、菊池  
さんは丁寧に答えていただきました  
。そして、実践的な助言もあり  
ました。参加者からの「笑顔を引  
き出すためにはどうすればよいか」  
「その人らしさを引き出すにはど  
うしたらよいか」という質問に対  
して、菊池さんは「撮影者自身が  
笑顔でいることが大切」と笑顔で

答えられました。

参加者には、カメラを持  
参してもらい、道の駅内で  
実際に撮影しました。そし  
て、菊池さんから参加者に  
アドバイスしてもらいまし  
た。参加者は、研修会で学  
んだことを振り返りながら、  
真剣な表情で写真撮影に臨  
んでいました。

### 【参加者の感想】

「カメラ女子、復活しよ  
うと思いました」

「今後、人物を撮影する  
ときは、撮影者自身も笑  
顔で撮影するよう心がけ  
たいです」

「カメラの機能をかえる  
ことで、同じ写真でも違っ  
た絵になるんだと感じま  
した」



菊池さんから、参加者が撮影した写真にアドバイスをいただきました



## 平成25年度権利擁護フォーラムを開催しました

### 認知症になっても自己実現を保障できるまちへ

平成25年6月15日(土) 13時30分から15時40分、八幡浜市民スポーツセンターにおいて、平成25年度権利擁護フォーラムを開催しました。(八幡浜市社協と愛媛県社協が主催) 市民、民生児童委員、愛媛

県内外の施設、病院、市町村協、地域包括支援センター、行政、社会福祉士、精神保健福祉士、弁護士、司法書士、行政書士など成年後見制度に関心のある・従事している約160名の方に出席していただきました。

いただきました。

本フォーラムは多くの後援をいただきました

成年後見制度は、判断能力が十分でない方を法的に支援する制度です。少子高齢化や核家族化を背景に、障がいをお持ちの方や高齢者の方がお金の管理や介護・医療の継続が難しい場合があること、悪徳商法による被害防止のために成年後見制度のニーズが高まっています。地域にあった権利擁護の仕組みを整える必要があります。専門職や専門機関、行政だけでなく、地域住民を含めた関係者が「私(た

ち)のこと」として積極的に権利擁護について理解を深め、参加していくことが求められています。

権利擁護について皆で考えるため、そして、平成25年5月1日に開所した八幡浜市権利擁護センター(八幡浜市社会福祉協議会地域福祉課内)を知っていただくため、本フォーラムを開催しました。

八幡浜市 大城一郎市長から開会のあいさつをいただきました。権利擁護センター開所までの経過および権利擁護センターが機能することが誰もが安心して生活できる八幡浜市になることをお話ししていただきました。

八幡浜市権利擁護センター職員から権利擁護センターの機能の説明を行いました。また、愛媛県社会福祉協議会 葛本啓士さんより愛媛県社協における権利擁護の取り

組みを説明していただきました。

その後、大阪市立大学生生活科学研究科岩間伸之氏に講師を務めていただきました。岩間氏は大阪府成年後見支援センター運営委員会委員長や特定非営利法人西成後見の会理事をされています。地域で権利擁護が充実するための研究と実践、市民後見人の推進などに取り組みられています。

講演内容は「成年後見制度をめぐる動向と市民後見人の可能性」地域ぐるみの権利擁護の推進に向けてです。平成25年度、新たな成年後見制度が誕生してから現在までの13年の軌跡を振り返りました。関係者の地道な努力により社会に少しずつ制度が浸透しているため、申立件数の増加が顕著です。最高裁資料「成年後見人等と本人との関係」(平成24年1月～12月)において、親族が成年後見人等に選任されたのが48・5%、親族以外の第三者が成年後見人等に選任された割合が51・5%となっています。第三者の内訳の中に、司法





講師を務めていただいた岩間氏

書士や弁護士等とあわせて市民後見人が明記されました。このことは成年後見制度に市民参加が必要であるという大きなインパクトを与えるものでした。権利擁護における行政の責務、重大な権利侵害に至らないための予防の視点を大切にすること、誰のための権利擁護なのか、制度に市民参加が求められる理由などお話ししていただきました。また、大阪で活躍している市民後見人の動向も伝えていただきました。

【参加者の感想】

「お互い様の心が大切。前向きに、私も権利擁護に参加できるという気持ちになりました」  
(市民)

「地域で支え合うこと、早期に困っている方の変化に気付くことが大切だと感じます」  
(介護保険事業所)

「市民後見人は専門職にはできない市民という専門性を活かします」「地域での支え合い活動として、市民後見人の可能性を感じました」  
(市町社協)

成年後見制度に関することについては、八幡浜市社会福祉協議会八幡浜市権利擁護センター  
(住所：市内松柏乙1101番地  
電話：2312940)までお問い合わせください。また八幡浜市社協のホームページに権利擁護センターの機能を掲載しております。

# 平成24年度八幡浜市社会福祉協議会 事業報告・決算報告

八幡浜市社会福祉協議会は、平成24年度事業計画および予算にもとづき、各種福祉団体・関係行政機関等の協力を得ながら、多岐にわたる福祉活動を本所・支所・事業所との連絡を密にし、それぞれの役割分担を明確にして、地域福祉の推進と在宅福祉サービス向上に積極的にとりくみました。ここに心よりお礼を申し上げます。平成24年度の事業報告および決算についてご報告いたします。

## A 法人経営の基盤整備の推進

- ・ 社協の運営体制の整備と基盤の強化
- ・ 理事会・評議員会等各種会議の開催
- ・ 地域住民座談会
- ・ 社協会員の加入促進
- ・ まこころ銀行

## B 地域福祉活動の推進

- ・ 共同募金運動
- ・ 社会福祉大会の開催等
- ・ 地域福祉活動の強化
- ・ 地域福祉基金の活用による福祉活動の推進(地区社協)
- ・ 独居高齢者等見守りネットワーク事業
- ・ ふれあい・いきいきサロン(68ヶ所)
- ・ ふれあい・子育てサロン(12ヶ所)
- ・ 市社協だより(年6回)、各地区社協だより
- ・ 給食サービス(地区社協、原則75歳以上のお一人暮らしの高齢者、86回、7、618食)
- ・ ボランティア協議会の活動促進
- ・ 支援
- ・ 第25回福祉のつどい
- ・ 各種ボランティア養成講座・研



- ・ 修会および参加（手話奉仕員、精神保健ボランティア、朗読ボランティア、点訳ボランティア、傾聴ボランティア、社協・ボラ協合同研修会）
- ・ ボランティアグループの育成支援（共同募金配分金）
- ・ ボランティアワークキャンプ
- ・ 福祉教育体験学習（3校、3回）
- ・ 福祉施設の夏祭りの活動支援（3施設）
- ・ ボランティア保険およびボランティア行事用保険の加入
- ・ 共同募金運動、歳末たすけあい運動に対する協力
- ・ 児童・母子・寡婦・父子福祉推進事業
- ・ 手話通訳派遣事業
- ・ 手話通訳研修会
- ・ 障害者スポーツ大会
- ・ 浜っ子ふれあい広場への支援
- ・ 障害者料理教室
- ・ 社会福祉関係機関・団体との連携強化

**C 在宅福祉サービスの推進**

- ・ 介護保険事業の推進（居宅介護支援、訪問介護、訪問入浴、通所介護、短期入所）
- ・ 保健福祉・介護保険外事業の推進
- ・ 福祉用具貸出
- ・ 介護予防教室通所事業
- ・ 通所型介護予防事業

**D 福祉サービス利用支援**

**推進**

- ・ 福祉サービス利用援助事業
- ・ 成年後見制度利用支援事業
- ・ 法人後見事業
- ・ 災害見舞金給付事業
- ・ 生活福祉資金貸付事業
- ・ 小口資金貸付事業
- ・ 心配ごと相談所

**E 施設サービスの推進**

- ・ 養護老人ホーム「湯島の里」
- ・ 「あけぼの荘」の管理・運営

平成24年度 決算報告

収入項目	決算額 (円)	支出項目	決算額 (円)
会費	6,928,016	人件費	307,973,293
寄付金	3,262,805	事務費	23,875,136
経常経費補助金	30,038,000	事業費	97,018,002
助成金	4,548,462	貸付事業等	536,000
受託金	16,949,838	助成金	10,895,616
事業収入	1,798,540	経理区分間繰入金	25,847,297
貸付事業	577,000	固定資産取得支出・繰入	4,106,600
共同募金配分金	11,262,978	積立預金積立支出	3,455,688
介護保険	181,763,636	その他	2,096,568
自立支援費	3,237,640	支出合計	475,804,200
補助事業等	1,050		
利用料	1,228,500		
措置費	186,439,000		
雑収入	1,716,212		
受取利息配当金	63,059		
経理区分間繰入金	25,847,297		
積立預金取崩	2,673,217		
その他	401,774		
収入合計	478,737,024		

【前期末払資金残高】 + 【収入合計】 - 【支出合計】  
 230,597,491円    478,737,024円    475,804,200円  
 =【当期末払資金残高】  
 233,530,315円